

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149935号
(U3149935)

(45) 発行日 平成21年4月23日(2009.4.23)

(24) 登録日 平成21年4月1日(2009.4.1)

(51) Int.Cl.

B 2 6 B 13/06 (2006.01)

F 1

B 2 6 B 13/06

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2009-33 (U2009-33)
(22) 出願日 平成21年1月7日(2009.1.7)(73) 実用新案権者 501092900
東亜シーザ株式会社
岐阜県関市長住町8番地
(72) 考案者 土岐 邦彦
岐阜県関市長住町8番地の1

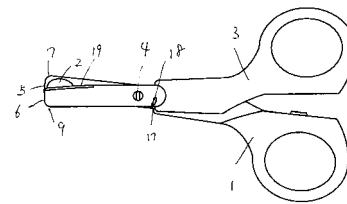
(54) 【考案の名称】 安全な鋏

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】鼻や耳の穴の毛を特別な鏡等がなくても、誰でも安全に切ることができる鋏を提供する。

【解決手段】鋏の先端部などのエッジ7, 9等を丸く成形し、鼻や耳の穴の内部を傷つけないようにし、かつ、鋏を開閉してもストッパー鋏17が溝18で開く角度を規制して先端部5と6が離れないので先端部で切ったり傷つけたりすることも無いようにする。なお、この開閉を規制するためにはハンドルの形状を工夫したり他の器具を使用しても可能である。さらに、刃体1に穴部2を設け、刃体1, 3の開閉によって穴部2に入った毛だけが穴部2のエッジと刃体3の刃部分19によって切断されるように構成する。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

刃部を有する一对の鋏片を軸により開閉可能に支持してなる鋏において、刃部の先端近くに穴部 2 を設けた刃体 1 と切断用の刃を有した刃体 3 とを 1 組とする鋏

【請求項 2】

ストッパー用の鋏 1 7 と溝 1 8 でもって刃体 1 と刃体 3 の先端部 5 と 6 が離れるところまで開かないよう規制した請求項 1 に記載の鋏

【請求項 3】

刃のエッジ 7 , 8 , 9 , 1 0 , 1 1 , 1 2 , 1 3 , 1 4 , 1 5 , 1 6 を丸くした請求項 1 または請求項 2 に記載の鋏

10

20

30

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この考案は、鼻の毛や耳の毛などを切断する鋏に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来からある鼻毛を切る鋏は、先端部で肉部分を切ったり、たとえ先端を丸くしておいても端の部分で傷つけたりしますので十分注意して使用しなければならない欠点があった。

【考案の概要】

40

【考案が解決しようとする課題】**【0003】**

上記のような欠点を解決する為には先端が当たっても傷つかず、また先端部で肉を挟まない様な形状の鋏を作ることが必要である。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

この考案は上記の問題点を解決するために、先端部を丸くして傷をつけず、切る部分は穴部 2 だけにすることで解決するものである。

【考案の効果】**【0005】**

50

鼻の穴や耳の穴を傷つけず使用できるので、特別鏡など無くても全ての人に安全に使用していただける鋏である。

【考案を実施するための形態】

【0006】

鼻の穴や耳の穴に鋏の先端部を入れても7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16丸いので皮膚に傷ができることはない。また鋏を開閉してもストッパー鋏17が溝18で開く角度を規制して先端部5と6が離れないので先端部で切ったり傷つけたりすることも無い。なお、この開閉を規制するためにはハンドルの形状を工夫したり他の器具を使用しても可能である。そして開閉によって穴部2に入った毛だけが穴部2のエッジ20と刃体3の刃部分19によって毛を切断することができる。

10

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】安全な鋏を開いたところを示す正面図

【図2】安全な鋏を閉じたところを示す正面図

【図3】安全な鋏を閉じたところの左側面図

【図4】M - Nの断面拡大図

【図5】刃体1のみの正面図

【図6】刃体3のみの正面図

【符号の説明】

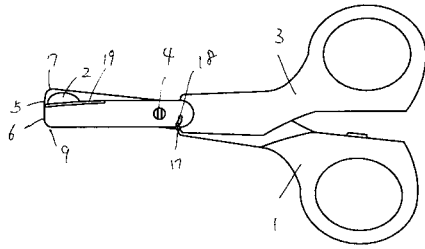
【0008】

- 1, 3 刃体
- 2 穴部
- 4 鋏
- 5 刃体1の先端部
- 6 刃体3の先端部
- 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16 両刃体のエッジ
- 17 ストッパー鋏
- 18 溝
- 19 刃体3の刃部
- 20 刃体1の穴部2のエッジ

20

30

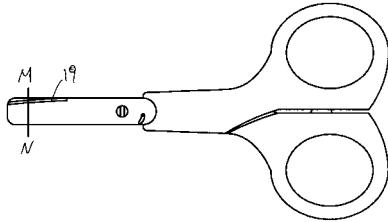
【図 1】



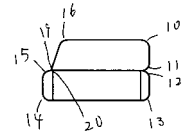
【図 3】



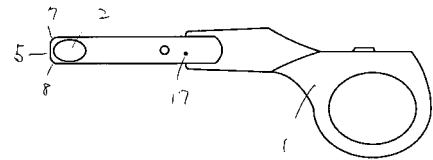
【図 2】



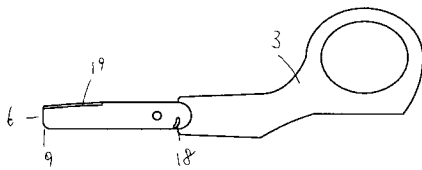
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【手続補正書】

【提出日】平成21年2月16日(2009.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

刃部を有する一対の鋏片を軸により開閉可能に支持してなる鋏において、刃部の先端近くに穴部(2)を設けた刃体(1)と切断用の刃を有した刃体(3)とを1組とする鋏

【手続補正 2】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

鋏に開閉を規制するストッパーの鉾(17)と溝(18)を持ち、鋏の先端部分(5)と(6)が開いてしまわない請求項1に記載の鋏

【手続補正 3】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

鋏の先端部分に関わる全てのエッジ(7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16)を丸くした請求項1または請求項2に記載の鋏